

広報 UNOYAMA

第 8 号

発行所 黒埼村役場
発行人 清水善夫
印刷所 小野塚印刷廠

北陸高速自動車道の 路線決まる

村内を縦断 8.6km



公団側の説明を聞く関係者

<村の動き>

10月末現在	
人口	17,006人
男	8,323人
女	8,683人
世帯数	3,715
10月1日から10月31日まで	
死亡	18人
出生	11人
婚姻	23組

北陸自動車道は（新潟・長岡）は国土開発幹線自動車道建設法の規定に基き、昭和四十二年基本計画が策定され、四十三年整備計画に続いて、四十四年四月日本道路公団に対して施行命令が出され、同年六月一日新潟工務所が発足した。この道路は将来長岡より柏崎を経て既に着工中の富山・石川・福井を通り名神高速道路、米原インターチェンジに連絡する。北陸高速道路となるものであり又長岡より分岐して、群馬・埼玉を経て東京に通ずる関越高速道路となり新潟と首都及び関西経済圏を結ぶものである。

この本村を経過するルート（路線）が去る十一月十六日役場講場において、県企画調整課ならびに日本道路公団関係者の出席のもとで、村議会議員、農業委員、部落町内連絡委員各全員と土地改良、農業関係団体の代表等に詳細な説明と質疑応答がなされた。地図を見て頂けば、だいたいおわかりかと思いますが、主な経過地点は下山田を通過、ここからゆるく、カーブして鳥原本村と北場部落のほぼ中間を通り、県道新潟・亀田・内野線を横断し（ガス基地の西側）小平方・鳥原新田の東側（金巻部落の西側）を通り、県道黒埼西

川線を上ぎり、木場・板井部落の耕地を経て西川町に至る全長八・六km・幅員二十五m・四車線・この建設により、美田が大きく変貌しようとしている。この説明について県及公団側に対し積極的な質疑応答がなされた。この要旨を簡単に説明します。

川線を上ぎり、木場・板井部落の耕地を経て西川町に至る全長八・六km・幅員二十五m・四車線・この建設により、美田が大きく変貌しようとしている。この説明について県及公団側に対し積極的な質疑応答がなされた。この要旨を簡単に説明します。

A 高架線道路か、土盛り道路か
B 路線の変更はできないか
C いずれも各部落の重要な耕地を通過し完成後は照明等により附近の稲作に被害はないか
D 用地買収について地元の要望を全部満たせるか、また公団側にそうした枠があるのか
E 買取価格はどのように決定する

G 公団は用地価格をおおよそ、どの程度にみているか
H 道路は全部立体交差か
I 農道、用排水路の問題はどのようになっているか
J ケースバイケースでいきたい
K 三十間に一本位の割合で農道があるが、不便は必然と考えられる。そこで側道を建設するという話だがどうなるのか
L 設計協議の段階で十分検討したい

川線を上ぎり、木場・板井部落の耕地を経て西川町に至る全長八・六km・幅員二十五m・四車線・この建設により、美田が大きく変貌しようとしている。この説明について県及公団側に対し積極的な質疑応答がなされた。この要旨を簡単に説明します。

川線を上ぎり、木場・板井部落の耕地を経て西川町に至る全長八・六km・幅員二十五m・四車線・この建設により、美田が大きく変貌しようとしている。この説明について県及公団側に対し積極的な質疑応答がなされた。この要旨を簡単に説明します。

